

兎と星

ちはる

きょう兎が願うのは
たくさん星が見れますよう

気づいた夕日が拾ったら
赤い瞳の閉じる間に 大至急の天の川

色が世界に帰ったら
白けたふりして床に就く

きょうも兎が願うのは
たくさん星が見れますよう

袖に夕日が捌けたなら
やっとな点灯 さあウェルカム

たしかに兎が願うのは
たくさん星が見れますよう

叶えた瞳に映るのは
彼女の映るひとつ星

あ 月、跳ねた